



# 森の幼稚園へようこそ 港区立白金台幼稚園 7月園だより

平成30年6月27日  
園長 新井 智子

〒108-0071  
港区白金台  
3-7-1  
(3443) 5666



<http://shirokanedai-kg.mina-to-ky.ed.jp/>



## わくわくまつりは大盛況！

園長 新井 智子

梅雨の晴れ間、「わくわくまつり」が今年も開催されました。早いうちから、お祭り委員さんを始めとする保護者の皆様、そして年長児がお祭りの準備をすすめてきました。「お祭りまだ？早くお祭りにならないかな」子どもたちは、その名の通りわくわくしながら待っていました。

当日、一番始めに手作りの提灯の下でお神輿を担ぎました。はっぴを着た子どもたちが、「おみこし わっしょい！」と威勢のいい掛け声をかけて担ぎ、園庭を一周しました。3歳児も手作り神輿を担ぎました。

続いては、お楽しみのゲームやお店です。子どもたちは、森の園庭に広がるお店やゲームコーナーを楽しそうに回りました。毎年恒例のゲームは、今年なりのアレンジがあり、保護者のお店番や裏方のお仕事も大変スムーズでアイデア満載の運営でした。また、年長組は、射的と魚つりのゲームをそれぞれ工夫してつくり、当日お店屋さんとして役割をもち、年下の友達の面倒をみました。忙しく汗だくになって、大活躍でした。

今回のお祭りで、特に印象に残ったことは、「おもてなしの心配り」と「心から楽しむ」親子の姿でした。保護者の皆様は、「飛行機おじさん」のサポートや、未就園児親子の誘導など、お迎えした人やお客さんへの心配りが素晴らしいものでした。お店の配置や設営に細やかな配慮があり、混雑せず実施できました。また、忍者の出現やスタンプのうちわなど、子どもたちだけではなく、親も楽しめる内容でした。年長の子どもたちは、ゲームの仕掛けを工夫したり、「小さい友達のためにはどうしたらいいか」「楽しい雰囲気にするには、何が必要か」など考えたりし、当日も必死に対応する頼もしさが見られました。お祭りの最後は、輪になって「サンサン音頭」を踊り、一本締めをしました。三回ずつ、九回手を打ち、最後にポンと一回。漢字の九に点を打って「丸」。丸く納まるという意味の一本締めです。お祭りは、幼稚園、保護者、地域、子どもたちが丸く一つになり、感動と感謝いっぱいでした。お祭りをつくり、盛り上げてくださった皆様に心より感謝申し上げます。



### <今月の指導のねらい>

- 3歳児 ○ 教師や友達のおそばで安心して、好きな遊びやしてみたい遊びを楽しむ。
- いろいろな水遊びを通して、水の心地よさや楽しさを感じ、水に親しむ。
- 所持品の始末や着替えなど、園生活に必要なことを自分でしようとする。
- 4歳児 ○ 新しい素材に触れたり季節を感じたりしながら遊びを楽しむ。
- いろいろな水遊びやプール遊びを通して水に親しみ、楽しさを感じる。
- 学級のみinnで活動する中で、自分なりに動いたり同じ動きをしたりする楽しさを味わう。
- 5歳児 ○ 友達と一緒にプール遊びを楽しみながら、自分なりのめあてに向かって繰り返し取り組んだり、挑戦したりしようとする。
- 身近にあるいろいろな素材や材料の特性に気付き、自分なりに試したり、工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

